



学校だより

〒952-1311 新潟県佐渡市八幡 2002 番地 Tel 0259-57-2602 Fax 0259-57-2604
<http://yahata-es.sado.ed.jp/> (HPにカラー版の学校だよりを掲載)

自分と八幡の未来を考える日 八幡キャリア教育フォーラム

校長 山崎 勝之

11月13日(日)、「自分と八幡の未来を考える日」として、地域・保護者の皆様と貴重な1日を過ごすことができました。

午前中は、八幡・银杏の会が主催するチューリップ大作戦・芋煮会に参加しました。子ども、保護者、教職員合わせて100名程での参加です。まず、子どもたちは自分のプランターに球根を植えました。次いで、学区内の歩道と道路に飾るプランターに球根を植えました。2,000鉢という数量です。プランターには砂を入れるので、プランター1つでもかなりの重さです。スコップで砂を入れたり、プランターを運んだりするのはかなりの重労働でした。本当にがんばってくださいました。ありがとうございました。

11時から、芋煮会でした。3、4年生が春から育て、11月11日(金)に収穫した「八幡いも」が使用されました。「私たちが育てた八幡いもの芋煮です。味わってください。」と言いながら、お椀を配っていました。

午後は、八幡キャリア教育フォーラムを実施しました。前半は、パネラーによるボランティア活動の紹介です。八幡・银杏の会の名誉会長である本間東三夫様と読み聞かせサークル「みんなわくわくかい」の稲辺妙子様、近藤千鶴様でした。団体発足の経緯や目的、中心的な活動について教えていただきました。八幡地区、小学校のためにボランティア活動をする中での喜び、やり甲斐、仕事との両立の方法などについても聞かせていただきました。

後半は、8つの縦割り班に分かれて、保護者も参加して話し合いを行いました。最初は、「八幡と佐渡の好きなところ」「もっとこうなったら良いと思うこと」について発表しました。次に、家族の仕事調べの結果を発表しました。「仕事の面白さ、やり甲斐」「今の仕事に就いた理由」「子どもの頃にやっていたことで今の仕事につながる体験」について発表しました。最後に、「将来、やってみたい仕事」「将来、がんばりたいこと」「そのために、今、がんばること」を考え、付箋紙に書いて紹介しました。

親子で触れ合い、地域の方とのつながりを深めるとともに、自分の将来について考える特別な1日になりました。



チューリップの球根植え付け



大鍋で八幡いもを調理



団体による地域貢献活動の紹介



夢や地域貢献についての話し合い

佐渡市小学校音楽発表会

11月23日(祝)「みんなの学校」上映会



[上映時間]
第1回10:00～
第2回14:00～
[会場]
八幡小学校 2階
プレールーム



映画「みんなの学校」は、平成25年度文化庁芸術祭大賞受賞作品です。受賞理由として、以下のように紹介されています。

11月10日(木)、アミューズメント佐渡で、小学校音楽発表会がありました。3～6年生は練習の成果を発揮し、すばらしい歌声を発表してきました。感想を紹介します。

今年の音楽発表会は、1番目の発表だったので、朝からずっと緊張していて、声が出るか心配だったけど、音はずさないで歌うことができたのでよかったです。 近藤(可)

今年は、優しい歌声で上手に歌えました。言葉の一つ一つをゆっくり、丁寧に、はっきりと歌えたので、とてもうれしかったです。 石井(奈)

全ての子供に居場所がある学校作りを目指す大阪市立大空小学校の取組を、長期にわたり丁寧に追い続けた教育ドキュメント。

他の地域では厄介者扱いされていた転校生が、教師と同級生、そして地域が包み込むことで、素直で心優しい子供に成長していく姿は、見ている者の心を熱くする。大空小学校の試みは、上からの教育改革とは一線を画す、現場からの教育改革である。

思いやりの気持ちを育てよう!

八幡小学校には「よいとこみつけの木」があります。友だちの良いところやがんばっているところ、ありがたいの気持ちを葉っぱに書いて、その木に貼ります。毎月、葉っぱに書かれた中からいくつかを給食の時間に紹介しています。



「あそぼ」と誘ってくれて
ありがとう!うれしいよ!
Yより

何でも優しく言って
いていいね
Kより

なんでもあきらめないで
やっていたいいね。
Kより

消しゴムを拾ってくれて
うれしかったです。
Hより

いつも発表の時がんばって
いていいですね
Tより

どの言葉も、とても優しく、心が温くなるものばかりです。八幡小学校の子どもたちは、仲間に対する優しい心を持っていると、日々感じています。

一方で、相手を傷つけるような言葉を使ったり、強い口調で注意したり、言葉よりも先に手が出てしまったりというような、相手の気持ちを考えてほしいなあ・・・と感じる場面も時々あります。そのような時に、子どもたちと一緒に、自分がされたらどんな気持ちになるかな?とふり返りをすると、「いやな気持ちになる」と素直に反省することができます。「思いやり」の第一歩は、「自分がされていやなことをしない」ことです。優しい心をもった八幡小学校の子どもたちですから、相手の気持ちに気づくことで、今よりももっと思いやりにあふれる学校にすることができると思います。(養護教諭 市川 唯純)